

区割り・区役所の位置は、住民の意見を最大限に反映して！

議会は「5区原案」に異論、会派の見直し案を相次ぎ提示

住民の声に耳を貸さない幸山市長は、「5区案」に固執

【共産党案】・・・4区案

- ① 北部は、原案の区割りのままなら、区役所は「清水市民センター」に。
- ② 東部は、原案のまま、区役所は既存施設を活用して経費を削減するため、「東部市民センター・東保健福祉センター」を一体的に利用。
- ③ 花園・城西・池田校区は中央の区に入れ、区役所は「市役所」とする。
- ④ 西部と南部は1つの区にして、区役所は既存施設活用の立場で「駅周辺か、南部市民センター」とする。

【自民党案】・・・4区案

- ① 北部の区役所は植木支所に、清水市民センターを区役所別館に。
- ② 帯山・帯山西校区は東部に入れ、区役所は免許センター跡地に。
- ③ 花園・城西・池田校区は中央の区に入れる。区役所は市役所。
- ④ 西部と南部は1つの区にして、区役所は富合支所、西部市民センターは区役所別館とする。

【公明党案】・・・4区案

- ① 北部は原案のまま、区役所は植木支所に。
- ② 帯山校区を東部に入れて、区役所は免許センター跡地とする。
- ③ 花園・城西・池田校区は中央の区に入れ、区役所は「市役所」に。
- ④ 西部と南部は1つの区にして、区役所は西部市民センターに。

5月6日に開催された政令市特別委員会には、共産党・自民党・公明党から原案を修正する「4区案」の提案がなされました。

しかし、5月7日に開かれた議会運営委員会には、幸山市長が提案した「5区原案」をすすめる立場での補正予算が提案されました。

<内容>

東の区役所・税務大学校研修所隣接地の用地費他、北部・西部・中央・南部の区役所の増築・改修経費など

住民は納得していません！

6日の政令市特別委員会には、引き続き、花園・城西・池田校区を中央の区へ編入することを求める陳情や、武蔵丘方面の住民からは植木支所を区役所とすることに反対する陳情書が提出されました。

このまま、市長が提案している5区原案ですすめていけば、住民の声を無視して、不便な区割り・区役所を押し付けてしまうことになります。

【控え室から】 子どもが生まれました

なすまどか

5月1日、元気な女の子が生まれました。陣痛をこらえながらがんばる妻と一生懸命に生まれようとした力をふりしぼる子どものおかげで幸せな父親になることができました。生まれてきてくれてありがとう。おむつを替えた後の気持ちよさそうな顔やお母さんのおっぱいを必死に吸う顔、力いっぱい泣く姿など豊かな表情をみると心が温かくなります。昨日は助産師の方にお風呂の入れ方やげっぷのさせ方などを教えていただきました。新しい経験ばかりで戸惑いながらも、新鮮な毎日を送っています。子どもができて改めて思うことは、健やかに育つ環境や社会を実現したいということです。米軍基地移設のニュースやニューヨークでの核不拡散条約（NPT）再検討会議の記事などを見ながら、とりわけ戦争のない平和な未来を子どものために残してあげたい。父親となりこうした気持ちがかこれまで以上に強くなっています。憲法9条が輝く社会へむけ、力いっぱい頑張ります。

* 未来・市民連合は、5区原案を支持する立場を表明。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 708

2010年5月16日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

行き詰った国民健康保険の再建を！

国保改善全国学習交流集会報告（上野みえこ）

加入者の実態に逆行した保険料の「負担増」と国庫負担削減

加入世帯の平均所得が減っていく中、上がり続ける保険料。

（年度）	（1人平均保険料）	（平均所得）
1984年度	39,020円	179.2万円
	↓	
1991年度	65,284円	276.5万円
	↓	（ピーク時）
2007年度	84,367円	166.9万円

＊ 加入世帯の平均所得は、1991年度のピーク時を境に年々減っています。保険料はどんどん上がっています。80年代の2倍以上です。

門真市（大阪）での実態調査から見えてきたもの

門真市では大阪社会保障推進協議会が中心となり、09年10月「国民健康保険実態調査」を実施。（855世帯回収）

過去松下電器の企業城下町だった門真市は、生産拠点の海外移転に伴い、生活困窮者が増加。

（平均所得311万円、大阪で最低）
収納率・全国ワースト2位・79%
累積赤字 58億円

調査では、4人に1人が「保険料が生活を圧迫している」と答えていました。

市町村国保の総収入に対する国庫支出金の割合は、削減の一途。

1980年度	57.5%
（この間、次々に削減）	
2007年度	25%
＊ 27年間で、半分以下に落ち込んでいます。	

＜調査で明らかになったこと＞	
・ 診察・治療費のお金がかかるため病院に行くことを先延ばししたことがある人が	16.3%
・ 治療を中断した人は、	7.1%
・ 受診抑制の割合が多いのは、	59歳以下の比較的若い世代
・ 収入が少ないほど受診抑制が多い。	50万円未満 23.5%
	200～300万円未満 14.9%
	500万円以上 なし
・ 資格証明書の発行は低所得層	

全日本民医連の全国国民健康保険等死亡事例調査

09年に実施された調査では、国民健康保険の滞納（短期証・資格証）無保険等による37件（17県）の死亡事例があり、そのほとんどが無保険でした。（73%）

また、保険証があっても医療費が払えず死亡した事例が10件（6県）報告されています。60歳以下の死亡事例では、「非正規雇用」の人が多いというのが特徴的でした。

＜事例・その1＞	
39歳・男性・非正規雇用で無保険、自覚症状があったにもかかわらず、保険証がないので病院へはいけないと思い、受診していなかった。初診時、歩けない状態で、即入院。しかし、手術もできない手遅れ、肺がんで7ヵ月後に死亡。	
＜事例・その2＞	
51歳・女性・非正規雇用。社会保険に加入を拒否され、国保に加入。保険料滞納で、「1ヵ月証」。激痛で救急搬送されたときには肺がん末期、2週間足らずで死亡。	

政令市・・・大都市の国保は大赤字でたいへん！

（2008年度） （億円）	歳入	歳出	収支	一般会計 法定外繰入	繰入が なければ
横浜市	2,793億	2,935億	▲142億	273億	▲415億
大阪市	3,076億	3,441億	▲365億	172億	▲537億
名古屋市	2,031億	2,022億	9億	104億	▲95億
札幌市	1,831億	1,848億	▲16億	114億	▲130億
神戸市	1,452億	1,452億	0	22億	▲22億
京都市	1,323億	1,414億	▲91億	141億	▲232億
さいたま市	968億	946億	22億	49億	▲27億

＊ほとんどの政令市が毎年数百億円の繰入、それでも多くが赤字！